

令和4年度 学校経営計画書

| | | | | | |
|------|---|-----|------------|-----|-------|
| 学校番号 | 5 | 学校名 | 静岡聴覚特別支援学校 | 校長名 | 松本 仁美 |
|------|---|-----|------------|-----|-------|

1 目指す学校像

(1) 教育目標「学びをつなげる学校」

自己の障害への理解を促し、一人一人の可能性を最大限に伸ばし、心身の調和的発達を図るとともに豊かな言語力を育て、社会の一員として主体的に生きる人を育てる
 <教育の柱>

○豊かな言語力 ○確かな学力 ○健やかな体 ○思いやりの心

(2) 目標具現化の柱

【安全・安心】健康で安全な生活と、安心をつなぐ学校

ア 生命の尊さと人権意識を大事にし、多様性を受け入れる姿勢

イ 防犯や防災、感染症防止等自分の身は自分で守る力の育成

【つなぐ学び】縦にも横にもつながる学びを進める学校

ウ ICT活用による主体的学びの充実

エ 友達や他者との対話的学びと協働

オ つながりのある教育課程とキャリア教育の視点による進路指導と学びの深まり

【信頼・連携】信頼関係を築き、つながる学校

カ 教育相談及び早期支援と乳幼児教室の充実

キ 通級指導教室の指導の充実と啓発

ク 関係機関との情報共有と相互支援

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）*「業務改善」についても記入する。

【安全・安心】健康で安全な生活と、安心をつなぐ学校

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|---|---|--|---|----------------------------|
| ア | 生命の尊さや人とのつながりを大切にし、一人一人の良さを受入れ、互いを尊重する思いやりの心の醸成 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の不祥事といじめを見逃さない体制づくり ・静聴版心得（人権チェックリスト）に基づく人権教育研修の実施 ・年間指導計画に基づく道徳教育、心の教育の実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゼロの日トークをきっかけとし、人権意識が高まり、不祥事根絶に向けて自分の行動を振り返ることができた教職員（AB90%以上） ・静聴版心得（人権チェックリスト）による自己評価（AB90%以上） ・学級経営案や個別の教育支援計画、個別の指導計画を基に、道徳の年間指導計画を定期的に見直しながら指導した教員（小中 AB85%以上） | 生徒指導課 教務課 各学部 事務部 |
| ア | 命のつながりを実感する食育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・季節感があり、健康な体をつくる給食献立の策定 ・産地と生産者、食材の特長や栄養等に関心をもつための食育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・給食や旬の食材について関心をもち、感想を書いたり話したりすることができた幼児児童生徒（AB90%以上） | 健康安全課 各学部 事務部 |

| | | | | |
|---|-------------------------------|---|---|---------------------|
| イ | 自分の命を守る 防犯及び防災等 安全教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者の視点で学校内外の安全を考える学習の充実 ・主体的に行動する防犯・防災訓練の実施 ・危機管理マニュアルの見直しと更新 ・ヒヤリハットの分析と共有による安全教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・登下校指導と通学状況確認（年間5回） ・多様な生活場面に対応した防犯学習と防犯訓練（年間2回） ・実際の状況に即した防災学習と避難訓練（年間5回） ・ふじのくにジュニア防災士初級講座受講（小2～5年100%） ・安全を考え主体的に行動できた幼児児童生徒及び教職員（AB90%以上） | 生徒指導課 各学部 事務部 |
| イ | 感染症を正しく理解し、感染症を防ぐ対策の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の正しい知識及び感染症を防止するための適切な行動等の学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症を理解し、適切に予防できた幼児児童生徒（AB90%以上） ・感染症予防について幼児児童生徒に指導することができた教員（AB90%以上） | 健康安全課 各学部 |

【つなぐ学び】縦にも横にもつながる学びを進める学校

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|---|----------------------|--|---|--|
| ウ | ICT活用による効果的な学びの充実と検証 | <ul style="list-style-type: none"> ・PCやタブレット活用による主体的学びの推進 ・個人情報漏洩等を未然に防ぎ、適切に取扱うための仕組みづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・PCやタブレットによって、授業がより分かりやすくなったと回答する児童生徒（AB80%以上） ・PCやタブレットを活用した授業を展開し、効果を得た教員（小中 AB85%以上） | 情報管理委員会 ICT推進委員会 教務課 研修課 各学部 |
| エ | 子供が対話的、協働的に学ぶ授業実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・障害の特性を踏まえた支援の充実と「わかる授業」の実践 ・子供の学びの見取りと学習評価から深い学びにつながる授業づくり ・スキルちゃんの効果的な活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業が楽しいと回答した児童生徒（AB90%以上） ・子供の学びを見取り目標に対して適切な評価ができた教員（AB90%以上） ・スキルちゃんを意識して指導した教員（AB100%） | 研修課 自立活動課 各学部 |
| エ | 教員の指導力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に基づく指導案と板書計画の作成 ・一人一授業研による授業力の向上 ・相互に学びあう校内研修の工夫と充実 ・外部講師招聘による研修 | <ul style="list-style-type: none"> ・障害特性を考慮した指導案と板書計画に基づく一人一授業研の実施（小中 AB100%） ・校内研修の協議や外部講師の助言から、授業改善を行った教員（AB90%以上） | 研修課 自立活動課 各学部 |
| エ | 聴覚障害児教育の専門性の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚管理に関するマニュアル・動画作成 ・聴覚管理に関する研修 ・聞こえのチェックの定着 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼児児童生徒の聞こえ及び補聴器・人工内耳の異常の有無に気付きマニュアルに従って対応ができる教員（AB100%） | 自立活動課 各学部 |

様式第1号

| | | | | |
|---|--------------------------------|--|--|------------------------|
| オ | キャリア教育の視点での幼小中学部の進路学習、進路指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 各教科と生活課題のつながりのある目標の設定 幼小中学部の系統性のある指導の充実 中学部の進路学習の充実 保護者進路学習会や進路だよりを通じた進路情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> キャリアパスポートを使い、定期的にキャリア教育や進路学習を実施した教員（小中 AB100%） 進路だよりの発行（年4回） 学校は進路情報を提供し、将来を見据えた指導をしていると回答する保護者（AB80%以上） | 教務課 キャリア教育担当 各学部 |
| オ | カリキュラム・マネジメントによるつながりのある教育課程 | <ul style="list-style-type: none"> 教職員一人一人の学校経営参画の意識向上 計画的で適切な予算運用 | <ul style="list-style-type: none"> カリキュラム・マネジメントを意識し、年間指導計画を見直しながら指導した教員（AB85%以上） 計画的な物品購入と効果的な使用ができた教職員（AB100%） | 教務課 各学部 事務部 |
| オ | 教育活動の見直し及び業務の精選と、働き方のセルフマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> 学部及び分掌等の業務内容の平準化と教職員一人一人の意識改革 定時退勤日の励行 | <ul style="list-style-type: none"> 自身で働き方を考え、業務の遂行ができた教職員（AB90%以上） | 教務課 各学部 事務部 |

【信頼・連携】信頼関係を築き、つながる学校

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|---|--------------------------------|--|--|-------------------------|
| カ | 専門性を生かした乳幼児教育相談の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者に寄り添った関係づくりと、必要な助言と信頼関係づくり 親子関係や仲間づくりを意識した早期支援・乳幼児教室の実践 乳幼児教育相談マネージャーと協働での教育相談事業の実践 | <ul style="list-style-type: none"> 安心して相談できたと回答する保護者（AB100%） S Tと連携した指導（年8回以上）と成果報告書の作成 乳幼児教育相談マネージャーの指導効果があったと回答する教員（AB100%） | 地域支援部 特別支援教育コーディネーター |
| キ | 在籍校とのつながりを大事にした通級指導教室の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 在籍校への円滑で適切な支援体制づくり 通級指導教室の指導の改善及び充実 | <ul style="list-style-type: none"> 在籍校訪問等による情報共有（児童生徒一人2回以上） ニーズに応じた通級指導の実施と保護者及び在籍校担任の満足度（AB90%以上） 難聴児支援講習会の実施（年2回以上） | 地域支援部 特別支援教育コーディネーター |
| ク | 特別支援学校のセンター的機能の推進と充実及び関係機関との連携 | <ul style="list-style-type: none"> 医療機関等関係機関との情報共有及び相互理解による連携強化 特別支援教育コーディネーターによる近隣の園や小中学校、高等学校への積極的な支援の実施 関係機関とのケース会議等連携強化の体制づくり | <ul style="list-style-type: none"> 早期支援、早期療育の資料作成と発信（学期1回以上） 近隣の園や小中学校高等学校との情報共有と支援（学期5回以上） 学校内外の情報共有や、ケース会議につないだ案件の整理と成果の検証（毎学期） | 特別支援教育コーディネーター 各学部 |

様式第1号